



ボランティア

11
2024

どこかで喜ぶ
誰かのために



【特集】 点訳サークル「スペース」メンバーの皆さま

3面・・・食糧等寄附のお願い
能登半島支援 今、私たちにできること
チャレンジ！ボランティア 講座開催
4面・・・令和7年度 地域福祉活動費助成金 募集

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、
宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】

杉並の底力

～知ってほしいご近所の老舗団体～



点訳サークル「スペース」は、1991年5月に設立。当時、東京点訳ボランティア協会が主催した点訳講習会で学んだメンバーが、学んだだけで終わりにせず、杉並区で点訳を活かしたボランティアをしたいと思いますと思い自主的に立ち上げました。文字を点字に翻訳する点訳を、現在はパソコンで点字編集ができる点訳ソフトを用いて、視覚障害者の知識の向上や趣味を深めることを目的に、様々な図書を点訳しています。

団体の活動内容とメンバーについて

点訳サークル「スペース」は、現在8名で活動しています。主な活動は様々な図書を点訳し、点字図書館であるサピエ図書館(※)に登録をすることです。また、視覚障害者個人や団体から点訳の依頼をいただくこともあります。

メンバーの中には点訳に興味を持ち講習を受けて入会した人もいますが、自宅でできるボランティアや、自分の特技を活かしたボランティアを探していて、点訳に行きついたという人もいます。

団体としては33年の歴史があり、設立後まもなくから活動をしている人も、今年新たに加入した人もおり、メンバーは入れ替わりながら活動を継続しています。

杉並から全国の誰かのために

読者の皆さんは「点字を目にする機会があっても読めない」という方がほとんどだと思います。私たちも最初は点字を学ぶことから始めました。紙に点字を打つには紙の裏側から打ちます。表は点字として読める凸面となります。時代の変化と共にパソコン入力に代わり、文字を入力するだけでソフトが自動的に点字に変換してくれるため、データを何度でも訂正できるようになりました。点訳の決まり事を理解し、覚えるのは根気が必要であることに変わりはありませんが、なにより個人の方の依頼に応えるだけでなく、インターネット上で共有できる時代になり、誰でも読みたいときに自由に読める形になったことが嬉しいです。

点訳は「点訳のてびき」というマニュアルに沿って自宅で行っています。しかし、1人で進めるのではなく、1冊の本を分担し、自分が点訳したものを他の3名のメンバーが順に校正を行い、悩んだ部分は月に2回の定例会で相談をし、点訳を進めていきます。サピエ図書館には、点字を読む人に正しい文章を届けるために、サピエの試験に合格した団体しか点訳図書を登録できません。複数の目で見て、より精度の高い点訳をできる団体のみが、全国の会員が見られるサピエ図書館に登録ができるのです。

【特集企画】杉並の底力～知ってほしいご近所の老舗団体～では、杉並で長く地域に根差した活動をされている団体を紹介し、読者が地域活動をはじめするためのきっかけにしていきたいと考えています。今回は点訳サークル「スペース」の皆さんにお話をうかがいました。

長年活動が続く理由

私たちが活動をはじめた経緯やタイミングは様々ですが、長年活動を続けてこれたのは「会の居心地の良さ」と「誰かが喜んでくれること」が大きな理由です。

サピエ図書館に登録をする本は、登録をされていない本の中からメンバーが候補を持ち寄り、定例会で決めます。賞をとった作品や話題作は、他の団体が積極的に点訳を行うため、私たちは会員の得意分野を活かし、歴史・音楽を中心に様々な分野の本を選ぶようにしています。自宅での活動がほとんどのため、都合のいい時間に自分のペースでできることや定例会で顔を合わせて相談できる程よい距離感、集まるメンバーの人柄が会の居心地の良さにつながっているのだと思います。また、様々な分野の本を読むことによって知見を広げられることも楽しみです。

2010年にサピエ図書館が始まるまでは、視覚障害者個人の方の依頼にお応えすることが活動の中心でした。点字で書いたお礼の手紙をいただいたときは、何よりも嬉しく、点訳をすることで誰か一人にでも喜んでもらえるならこの活動は必要なものになると思います。

今後について

これまで活動を続けようという覚悟ではなく、この活動の楽しさや、役に立てることの喜びで結果的に30年以上続いています。そのため、今後もメンバーが無理なく楽しくできるペースで活動をしていきたいと思っています。

私たちは、点訳や点字に興味を持つ人が増えることと、点訳を学んだ人が活動できる場や学びを深められるスキルアップ講座などが充実していくことを願います。点訳自体はオンラインでつながっていればできることですが、時には直接顔を合わせて話し合いたいと考える人が、気軽に集まって活動ができるようになるくらい、点訳に関わる人が増えていくことを願います。

※「サピエ」は、視覚障害者を始め、目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データなどで提供するネットワークです。全国約485の図書館・団体と約2万人の視覚障害者等が利用しています(2024年1月現在)。サピエ図書館はサピエのメインサービスです。国のサピエ会員施設・団体が製作または所蔵する資料の目録ならびに点字・音声図書出版目録からなる、点字図書や録音図書などの全国最大の書誌データベースです。

点訳サークル「スペース」

地域コム：<https://www.sugi-chiiki.com/tenyaku-space/>



お願い 食料等寄附のお願い



くらしのサポートステーションでは病気や失業等により経済的に困窮している方へ、自立支援の一環として食料や生理用品をお渡ししています。皆さまのご協力をお願いいたします。

受付期間 令和6年12月2日(月)～令和7年1月31日(金)
8:30～17:00 (日祝、年末年始を除く)
※土曜日は杉並ボランティアセンターで受け付けます。

対象品

【食品】賞味期限が明記されており、期限まで3か月以上のもので、未開封のもの

- ・レトルト食品(カレー、牛丼など)
- ・栄養補助食品(シリアルバー、ゼリー飲料など)
- ・缶詰(さば缶、やきとり缶などおかずになるもの)
- ・インスタント食品
- ・パックごはん
- ・防災食(アルファ米など)
- ・乾麺(パスタ、袋麺など)

※対象外の食品の場合お受け取り出来ないことがございますので、ご了承ください。

【生理用品】未開封で製造日から3年以内のもの

受付・問合せ 杉並区社会福祉協議会 生活支援課
くらしのサポートステーション係
TEL:03-3391-1751 (ウェルファーム杉並1階)



今、私たちにできること

Vol.6

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、たくさんの方が被災されました。ボラン・てでは、「その時に被災地が求めている支援」、「私たちができる支援」を紹介していきます。

富山県氷見市の特産品お取り寄せ 通販ショップでチャリティーTシャツ販売

通販ショップ「極み！とれとれ氷見」では、豊かな自然と匠の技により紡ぎ出される様々な氷見の逸品が購入できます。10月28日からは、能登半島地震の復興支援として、氷見市出身の漫画家藤子不二雄(A)さんの「忍者ハットリくん」と、石川県輪島市出身の漫画家永井豪さんの「マジンガーZ」をデザインしたチャリティーTシャツのオンライン販売がスタートしました。価格は4,400円で経費を除いた収益全額が被災地復興のため日本赤十字社に寄付されます。(Tシャツはなくなり次第終了)

<https://www.toretorehimi.jp/>



募集

チャレンジ！ボランティア 地域とつながろう講座 「気軽な一歩を地域の笑顔に」

ボランティアに興味があっても何をしたいか、何ができるかわからない、という方を対象に、杉並区内の居場所でする気軽なボランティア活動を紹介し、後日見学会を行います。あなたが気軽にできることが、求められている力かもしれません。まずは、聞いて、見てみませんか？

日時 12月17日(火)14:00～16:00

申込 電話、E-mail、または申込フォームにて

会場 特別養護老人ホーム フェニックス杉並 (天沼3-19-14)

杉並ボランティアセンター
TEL:03-5347-3939

☒ : info@borasen.jp

🌐 : <https://www.borasen.jp>

内容 ●ゲストの皆様からの場所や活動の紹介
●後日見学会あり

氏名(フリガナ)、住所、電話番号、E-mail、年齢、志望動機をお知らせください！

12/10締切

対象 区内在住、在学、在勤の方

定員 30名程度 ※先着順

★見学会は希望者のみ

ゲスト

見学会
1/15
13:00

まちなか・コミュニティ西荻みなみ

見学会
1/16
15:30

まちサロンおきやんち

見学会
1/8
10:15

杉並・ワーカーズまちなかの縁がわなかまの家

必見

MADE IN 杉並

区内の福祉施設や団体で作っているオススメの製品・作品を紹介します。お気軽にお問合せください！



利用者さんが独自に技術を習得した1点ものです。愛らしい表情や細部の表現など男女問わず大人気です。



ワークショップ・かたつむり (堀ノ内3-52-22) TEL:03-6383-2397

<https://katatsumurikai.com/>

おもい募金がまちをよくなるしくみ

令和7年度 地域福祉活動費助成金 申請団体の募集

『地域福祉の推進と団体の自立性を促進すること』を目的に、地域福祉活動のための活動費を助成します。
この助成金の財源は、「歳末たすけあい運動」で集められた募金です。

対象団体

杉並区内で地域福祉活動を行っている、または活動開始予定の民間非営利団体およびグループ
※営利、政治及び宗教を目的とした団体は対象外となります。

対象事業

令和7年4月1日から令和8年3月31日までに完了もしくは実施する事業で、地域福祉活動を推進する
発展性のある事業
※行政等からの補助金や委託を受けている事業や他から助成金など資金援助のある事業は対象になりません。

助成の種類と上限額

- (1) チャレンジ応援助成 1事業上限50万円
 - 新規活動の立ち上げ、
または立ち上げから3年未満の事業
- (2) 定例活動活性化助成 1事業上限20万円
 - 既存の活動を活性化するための事業

申請方法

申請書類に必要事項を記入の上、添付書類を添えて
杉並ボランティアセンターへメール、郵送、または持参して
ください。
書類確認後、申請内容について面談します。

申請期間

令和6年12月3日(火) から
令和7年1月18日(土) 午後5時まで(必着)

募集要項等

令和6年12月3日から杉並ボランティアセンターで配布。
ホームページ (<http://www.borasen.jp/>) から
ダウンロードできます。

問合せ

社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

助成金説明会

●助成事業の概要や方法などを説明
いたします。
2回とも同じ内容です。

- ① 令和6年12月11日(水)
15:00~16:00
- ② 令和6年12月21日(土)
15:00~16:00

※2回とも会場はウェルファーム杉並
2階会議室1・2
※1団体2名まで

〈申し込み〉

各回前日までに杉並ボランティア
センターへお電話でお申し込みく
ださい。

説明会に不参加でも申請はできま
すが、初めて申請する方はご参加
ください。



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: <http://borasen.jp>

うるくん
杉並協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30～17:00



* 祝日・年末年始はお休みです。

情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民
事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内JR、地下鉄丸の内線など)・他